



各地区の
デイホームを
ご紹介★

岡保地区社会福祉協議会 あったかサロン



何点釣れるかな？

岡保地区自治会型デイホーム「あったかサロン」で、釣りの竿で紙コップを1人1分間釣り上げ、チーム対抗で合計点数を競うゲームをしました。

紙コップの内側の底には数字が書かれていて、マイナス点も書いてあるため、利用者さんからは、「せっかくだくさん釣ったのにマイナスばかりで、合計もマイナスやったわ〜」、「マイナス作るなんて、今村さん、意地悪やの〜」と。反対に、「3個しか釣れんかったけど、プラスばっかりで大量点や」という強運の持ち主もおられました。

他にも、「2個いっぺんに釣れんか?」「あかんて欲出したら落ちてまうって...」「ほらっ、1個も釣れんかったがの〜」と漫才のような掛け合いも聞こえ、福井弁が飛び交い、大笑いのデイホームでした。

「これいいわっ、老人会や秋の村まつりでもよろっさ。材料も100均で費用もかからんし、簡単に作れるで。」と、うれしいお声をいただき、この秋は、岡保のあちこちでカップ釣りゲームの大流行の予感がしています。

岡保地区専任職員 今村 和恵

棗地区社会福祉協議会 いってこ会



毎年恒例！日程表づくり

棗地区自治会型デイホーム「いってこ会」では、年間の日程表作りをしています。

毎年、干支の絵をぬり絵で作っていましたが、今年度は折り紙をちぎって“ちぎり絵”で作りました。初めての試みで最初は戸惑いもありました。12会場で作りましたが、どの会場でも、「畑仕事や草むしりの方が楽やわ〜」と言う声も聞こえました。が、いつの間にか夢中になって、最後まで真剣な表情で取り組んでおられました。

出来上がると、「うわ〜綺麗に出来たわ!」と喜んで笑顔で持って帰られました。どの作品も個性があり素敵に出来ました。

棗地区専任職員 林 時子